

平成25年度

”函館・大沼・噴火湾ルート”活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題
5. 平成24年度活動報告への助言に対する状況報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート	報告者: 函館・大沼・噴火湾ルート 代表 金道 太郎	報告年月日: 2014/3/31
---------------------	----------------------------	------------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括
景観	美しい景観とは何かについて考える	景観診断の参加	1	-	-	-	/		平成18年度に作成したルート活動計画書から6年が経ち、ルート活動も多種多様になってきていることから、ルート活動計画書の更新が必要。
		テーマごとのエリアの紹介	2	-	-	-	/		
	ビューポイントを発掘する	シーニックフォトクラブの設立	3	-	-	-	/		平成18年度に作成したルート活動計画書から6年が経ち、ルート活動も多種多様になってきていることから、ルート活動計画書の更新が必要。
		H17シーニックバスツアーの開催	4	-	-	-	/		
		シーニックルートマップの作成	5	-	-	-	/		
		フォトコンテストの開催	6	-	-	-	/		
	ビューポイント周辺の景観向上に取り組む	清掃活動の実施	7	シーニック清掃活動	函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議	平成25年4月29日	80名 主催者:70名 一般参加:10名	A - 1	シーニック清掃活動は、平成20年度から始まった活動で現在も継続しているが、今後シーニックの認知度向上及び一般参加者の獲得に向けた展開が必要。はこだて花かいどうは、今年で節目の10年目を迎えた活動であり、こちらもシーニックの認知度向上及び活動自己資金の獲得に向けた展開が必要。
		植栽活動の実施	8	はこだて花かいどう	函館花いっぱい道づくりの会	平成25年6月8日	700名 主催者:600名 一般参加:100名	A - 2	
		景観阻害の改善	9	-	-	-	/		
地域	内部的な関心の共有、意識醸成	函館・大沼・噴火湾ルート(候補ルート)活動団体一覧作成	10	-	-	-	/		平成18年度に作成したルート活動計画書から6年が経ち、ルート活動も多種多様になってきていることから、ルート活動計画書の更新が必要。
	地域メディアとのタイアップ	FMいるかの情報誌「いるか通信」に特集記事掲載	11	-	-	-	/		平成18年度に作成したルート活動計画書から6年が経ち、ルート活動も多種多様になってきていることから、ルート活動計画書の更新が必要。
		FMいるかの特別番組(8月10日「道の日」)による情報発信	12	-	-	-	/		
多彩な世代に訴えかける情報ツールの開発	シーニックかるたの作成	13	-	-	-	/		平成18年度に作成したルート活動計画書から6年が経ち、ルート活動も多種多様になってきていることから、ルート活動計画書の更新が必要。	

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート	報告者: 函館・大沼・噴火湾ルート 代表 金道 太郎	報告年月日: 2014/3/31
---------------------	----------------------------	------------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括
観光	地域固有の資源を活かした観光メニューの創出	バル街V協賛イベント「街なか探訪・学びツアー」開催	14	-	-	-	/		平成18年度に作成したルート活動計画書から6年が経ち、ルート活動も多種多様になってきていることから、ルート活動計画書の更新が必要。
		「旧恵山町のブナ林と春の野の花の観察と生きた火山恵山とその周辺の歴史を学ぶ」ツアー開催	15	-	-	-	/		
		「鹿部町間欠泉とホタテの耳吊り体験」ツアー	16	-	-	-	/		
	活動団体の連携強化と観光の質の向上	縄文文化を再現し、体験する歴史探訪ツアー	17	-	-	-	/		平成18年度に作成したルート活動計画書から6年が経ち、ルート活動も多種多様になってきていることから、ルート活動計画書の更新が必要。
		西部地区の歴史的街並み探索ツアー	18	-	-	-	/		
		温泉宿泊施設を拠点に各種体験を交えた「癒し」のツアー	19	-	-	-	/		
		ルート全体で取り組む「スマイルキャンペーン	20	-	-	-	/		
		場所を変えた観光分科会の開催	21	-	-	-	/		
	歴史を学び活かす	「函館の歴史を学ぶ」講座	22	-	-	-	/		平成18年度に作成したルート活動計画書から6年が経ち、ルート活動も多種多様になってきていることから、ルート活動計画書の更新が必要。
		「函館の港を船上から学ぶ」講座	23	-	-	-	/		
自然を守りながらうまく活用していく	キャンプ&ラリーの開催	24	-	-	-	/		平成18年度に作成したルート活動計画書から6年が経ち、ルート活動も多種多様になってきていることから、ルート活動計画書の更新が必要。	
	横津岳ガイドツアーの開催	25	-	-	-	/			
	八雲の遊楽部川に代表される自然環境教育プログラムの提供	26	-	-	-	/			
ガイドの発掘・育成	大沼公園ボランティアガイド研修会	27	-	-	-	/		平成18年度に作成したルート活動計画書から6年が経ち、ルート活動も多種多様になってきていることから、ルート活動計画書の更新が必要。	
	ガイド発掘・育成のための連携(ネットワーク)作り	28	-	-	-	/			
地域と来訪者の心をつなぐ	人と人のふれあい方について勉強する	29	-	-	-	/		平成18年度に作成したルート活動計画書から6年が経ち、ルート活動も多種多様になってきていることから、ルート活動計画書の更新が必要。	

HAKODATE Scenic Byway

活動名：シーニック清掃活動

- 【概要】平成20年度から始まったルート連携活動。地域住民や観光客が集う場所で、おもてなしのこころで清掃活動を実施。知名度向上や一般参加者獲得に向けた検討が今後必要である。
- 【日時】4月29日（祝）
- 【場所】五稜郭タワー、函館市地域交流まちづくりセンター、函館市縄文文化交流センター、七飯町田園通り
- 【主催】函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議
- 【参加人数】主催者：70名、一般参加：10名



▲五稜郭タワー周辺



▲函館市縄文文化交流センター周辺

HAKODATE Scenic Byway

活動名：はこだて花かいどう

【概要】今年で10年の節目となるルート連携活動で、オールシーズンを通した活動。6月の植栽に始まり、7月～9月の月1回の花がら摘みや水やりなどの維持活動、10月の撤去活動、2月のシーニックdeナイトまでの年間を通した活動を実施しており、シーニックの認知度向上に向けた検討が必要である。また、植栽活動については、花株の提供や寄付はあるものの、自己資金で経費等を捻出しているため、ボランティア活動を継続していくためにも資金の獲得が必要。

【日時】平成25年6月8日（土）

【場所】函館新道

【主催】函館花いっぱい道づくりの会

【参加人数】主催者：約600名 一般参加：約100名



4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート	報告者: 函館開発建設部	報告年月: 2014/3/31
---------------------	--------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成24年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観	美しい景観とは何かについて考える	景観診断の参加	-	-	-	活動団体からの参加呼びかけをもとに、清掃活動や植栽活動といったルートの景観向上の取組みに参加した。	1
		テーマごとのエリアの紹介	-	-	-		2
	ビューポイントを発掘する	シーニックフォトクラブの設立	-	-	-		3
		H17シーニックバスツアーの開催	-	-	-		4
		シーニックルートマップの作成	-	-	-		5
		フォトコンテストの開催	-	-	-		6
	ビューポイント周辺の景観向上に取り組む	清掃活動の実施	平成25年4月29日	函館開発建設部、渡島総合振興局、函館市、七飯町	シーニック清掃活動の実施場所である五稜郭タワー、函館市縄文文化交流センター、七飯町田園通りの清掃活動に参加した。		7
		植栽活動の実施	平成25年6月8日	函館開発建設部、渡島総合振興局、函館市	函館新道の植栽活動に始まり、月1回の維持活動や撤去活動、冬のあかりの活動であるシーニックdeナイトの活動に参加した。		8
		景観阻害の改善	-	-	-		9
地域	内部的な関心の共有、意識醸成	函館・大沼・噴火湾ルート(候補ルート)活動団体一覧作成	-	-	-	ルートの活動が計画当初と比べて変化しており、ここには掲載されていないが、ルートの地域活性化の活動に参加した。	10
	地域メディアとのタイアップ	FMいるかの情報誌「いるか通信」に特集記事掲載	-	-	-		11
		FMいるかの特別番組(8月10日「道の日」)による情報発信	-	-	-		12
	多彩な世代に訴えかける情報ツールの開発	シーニックかるたの作成	-	-	-		13
観光	地域固有の資源を活かした観光メニューの創出	バル街V協賛イベント「街なか探訪・学びツアー」開催	-	-	-	14	
		「旧恵山町のブナ林と春の野の花の観察と生きた火山恵山とその周辺の歴史を学ぶ」ツアー開催	-	-	-	15	
		「鹿部町間欠泉とホタテの耳吊り体験」ツアー	-	-	-	16	
	活動団体の連携強化と観光の質の向上	縄文文化を再現し、体験する歴史探訪ツアー	-	-	-	17	
		西部地区の歴史的街並み探索ツアー	-	-	-	18	
		温泉宿泊施設を拠点に各種体験を交えた「癒し」のツアー	-	-	-	19	

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成24年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
		ルート全体で取り組む「スマイルキャンペーン」	-	-	-	ルートの活動が計画当初と比べて変化しており、ここには掲載されていないが、ルートの地域活性化の活動に参加した。	20
		場所を変えた観光分科会の開催	-	-	-		21
	歴史を学び活かす	「函館の歴史を学ぶ」講座	-	-	-		22
		「函館の港を船上から学ぶ」講座	-	-	-		23
	自然を守りながらうまく活用していく	キャンプ&ラリーの開催	-	-	-		24
		横津岳ガイドツアーの開催	-	-	-		25
		八雲の遊楽部川に代表される自然環境教育プログラムの提供	-	-	-		26
	ガイドの発掘・育成	大沼公園ボランティアガイド研修会	-	-	-		27
		ガイド発掘・育成のための連携(ネットワーク)作り	-	-	-		28
地域と来訪者の心をつなぐ	人と人とのふれあい方について勉強する	-	-	-	29		

※表中“★”は、H25新規に実施した活動

5. 平成24年度活動報告への助言に対する状況報告

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート	報告者: 函館・大沼・噴火湾ルート 代表 金道 太郎	報告年月: 2014/3/31
---------------------	----------------------------	-----------------

平成24年度活動報告への助言	平成25年度 状況報告	備考
-----	<p>ここ最近のルートの活動が計画当初と比べ、変わってきている活動も見られるので、再度ルート運営活動計画書の見直しの時期にきていると考える。ルート連携活動としては、シーニック清掃活動やほこだて花かいどうといった植栽活動、シーニックの森づくり事業、シーニックdeナイトの4つの活動を軸に活動を行っている。どの活動においても、シーニックの知名度向上が今後の最重要課題であり、一般参加者に向けたPR発信の検討が必要である。シーニックdeナイトについては、北斗市や上ノ国町の住民に対して、ワックスキャンドルの制作方法等についての出前講座を行い、実施に至った経緯があり、活動の広がりを見せている。今後も積極的に実施地域の拡大を図り、道南全体での冬のおもてなし事業として活動を展開していきたいと考えている。</p>	

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート	報告者: 函館開発建設部	報告年月: 2014/3/31
---------------------	--------------	-----------------

平成24年度活動報告への助言	平成25年度 状況報告	備考
-----	<p>ルートの連携活動であるシーニック清掃活動やほこだて花かいどうといった景観向上に向けた活動に参加した。また、シーニックdeナイトでは、活動団体が主催するワックスキャンドルの制作方法についての出前講座や製作体験会にも参加した。</p>	